

進行管理・実施状況評価の考え方

(1) 目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、平成28年3月に「第4次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第4次計画は、平成28年度から平成32年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確実に把握し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進する。

(2) 評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、協働文化推進課において、その実施状況を取りまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第4次さむかわ男女共同参画プランで定める4つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1. 進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

2. 事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

- A：目標達成
- B：概ね目標達成
- C：目標に向け事業が遅れている
- D：目標に向け事業がほとんど進んでいない

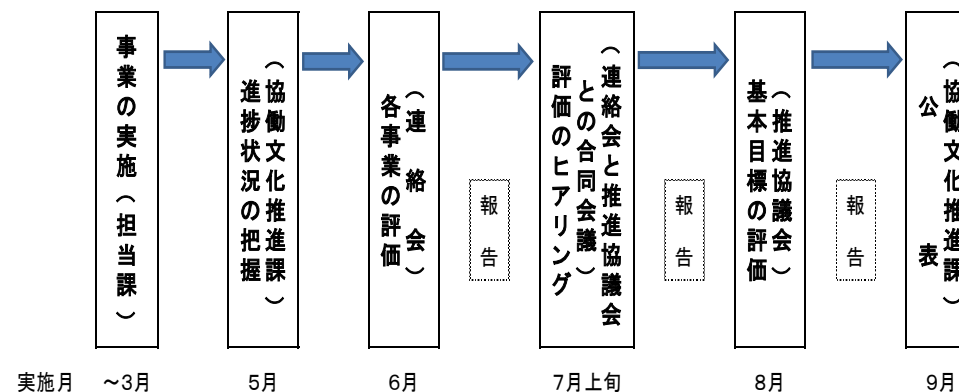
→【目標の達成度】についての考え方

- A：目標値に達している
- B：目標値に対し80%以上の実績値
- C：目標値に対し80%未満の実績値
- D：目標値に対し取り組むことができなかった

【今後の方向性】

1. 更に充実強化していく
2. 計画どおり取り組む
3. 一部見直しが必要
4. 事業の休止または廃止

進行管理・評価の流れ



<基本目標Ⅰ あらゆる分野での男女共同参画の推進>

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進

施策の内容(1) 事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
1	管理職への女性登用の推進		18	18	18	18	18	女性職員の比率が低い年代であることから、目標値を達成することができていない。 女性管理職の登用については、男女隔たりなく総合評価による抜擢人事としていることから、女性の割合を引き上げることが難しい状況である。	C	目標値に到達しなかったためC評価となるが、町職員全体における女性の数は増えており、今後は多くの女性管理職の活躍が期待できる。	総務課	
	事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合(%)	7	9								
2	勤労者実態調査の実施			50			40	町内の事業所に勤務する労働者の労働実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に実施した。 ・調査対象：町内に所在する従業員10名以上の全事業者 ・調査基準日：平成29年7月1日 ・調査の期間：平成29年7月14日～7月31日 ・送付数：290票 ・回収：81票 アンケートの内容や実施方法を検討し、回収率を向上させる工夫が必要。	C	アンケート内容を精査し、質問数を39問から26問へ減らすなどして事業者が回答しやすくなるよう工夫、また調査対象を従業員が10名以上の会社すべてとし、約50社には、職員が訪問して協力をお願いしたが、回収率の向上には至らなかったため。	産業振興課	
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施します。その結果を事業所に知らせることにより、女性登用の向上を図ります。	調査票の回収率(%)		28								

施策の内容（２）町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
3	女性委員登用の推進		22	24	26	28	30	地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数 24 総委員数 263人 うち女性委員数 50人 女性委員比率 19.0%	C	前年度(H28年度19.6%)より登用率が若干減少し、目標値には及ばなかった。各種審議会等を所管する担当課に対し、委員の改選時には女性委員登用の推進についてご配慮いただくよう、依頼文の記載例など添付して通知した。	協働文化推進課	
	町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。								20			

施策の内容（３）住民活動などにおける女性の参画の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
4	女性の活躍のための講座の開催		30	30 50	30	30	30	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。	A	<p>①定員(30名)を大幅に超える申込があり、48名まで増員し講座を実施した。自分自身の仕事に役立つ等アンケートの感想からも、満足度の高い講座となった。</p> <p>②参加者の年代も幅広く、アンケート結果からも満足度の高い結果となった。</p> <p>③寒川町内企業向けの講座を実施することができ、取り組み事例等わかりやすい内容だった。</p>	協働文化推進課	
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。		239	164				2				

施策の基本的方向 2. 女性の活躍のための支援
 施策の内容(1) 女性の人材育成の充実

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
5	女性の活躍のための講座の開催(再掲)		30	30	30	30	30	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①男女共同参画推進市町村連携講座「コミュニケーションカアップ講座～ハッピーボイス・トレーニングで伝わる話し方～」 日時:平成30年1月13日(土) 場所:寒川町民センター展示室Ⅰ 参加者:47人(男性14人、女性33人) 講師:山口 容子さん(株式会社テレビ朝日アスク講師) 内容:職場や地域などあらゆる分野において、男女が対等な構成員として政策や方針決定、団体の意思形成の過程に関わることは、社会の構成員の意思を適切に反映する意味でも重要である。自分の考えを相手に伝え、相手の意見に耳を傾け言葉のキャッチボールをして理解し、議論を深め、方向性を定めていく力は男女問わず必要であることから、コミュニケーションや話し方について学んだ。</p> <p>②市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会「報道写真家が世界で見てきたこと～キルギスの誘拐結婚とISに故郷を奪われた人々～」 日時:平成29年10月14日(土) 参加者:101人(男性34人、女性67人) 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室2・3 講師:林 典子さん(フォトジャーナリスト) 内容:講師が海外で取材活動中に撮影した写真をもとに、パキスタンでの、家庭内暴力や交際や結婚を断られたことに対する報復等により、男性が女性の顔に硫酸をかけて火傷を負わせる暴力行為、キルギスでの、気に入った女性を男性が誘拐して結婚を強要する「アラ・カチュー」、過激派組織IS(イスラム国)により異端視され迫害されているイラクのヤズディなど、男女平等の意識は世界的に広がりを見せているが世界各地には女性の地位の向上が遅れた地域があることや文化的な背景からくる問題の複雑さ、そして、世界にはこのような境遇に置かれている人がいるということを想像する・知ろうとすることの重要性についてご講演いただき男女共同参画について考える機会を提供できた。</p> <p>③寒川町女性の活躍推進講座「ホジティブ・アクション推進のために」 日時:平成29年11月7日(火) 参加者:16人(男性11人、女性5人) 講師:桂 香代子さん(一般財団法人女性労働協会第二事業部部长) 内容:ホジティブ・アクションの必要性とメリット、女性活躍、働き方改革の推進、先進事例の紹介など女性活躍推進について理解し職場で推進するために必要な知識を学ぶことができた。</p>	A	<p>①定員(30名)を大幅に超える申込があり、48名まで増員し実施した。自分自身の仕事に役立つ等アンケートの感想からも満足度の高い講座となった。</p> <p>②参加者の年代も幅広く、アンケート結果からも満足度の高い結果となった。</p> <p>③寒川町内企業向けの講座を実施することができ、取り組み事例等わかりやすい内容だった。</p>	協働文化推進課	
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。		239	164								

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	31年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
6	就労支援講座の開催 (H28・H29)若者サポートステーションと共催し、若者の就労支援のための講座を開催します。(H30～H32年度)県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。		3	3	3	3	3	若者サポートステーションと共催で事業を実施することはできなかったが、取組内容や開催講座について、HP等で周知に努めた。今後は、各団体が実施する就労支援講座についても積極的に協力し、周知を図っていく必要がある。	C	若者サポートステーションとの共催には至らなかったが、県と共催して就労支援講座などを実践することができたため。	産業振興課	
	開催講座数(講座)	0	2				1					

施策の内容(2)女性の社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
7	男女共同参画に関する講座の情報提供		4	4	4	4	4	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。 ①男女共同参画推進市町村連携講座「コミュニケーション力アップ講座～ハッピーボイス・トレーニングで伝わる話し方～」 日時:平成30年1月13日(土) 場所:寒川町民センター展示室I 参加者:47人(男性14人、女性33人) 講師:山口 容子さん(株式会社テレビ朝日アスク講師) ②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会「報道写真家が世界で見てきたこと～キルギスの誘拐結婚とISに故郷を奪われた人々～」 日時:平成29年10月14日(土) 参加者:101人(男性34人、女性67人) 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室2・3 講師:林 典子さん(フォトジャーナリスト) ③寒川町女性の活躍推進講座「ポジティブ・アクション推進のために」 日時:平成29年11月7日(火) 参加者:16人(男性11人、女性5人) 講師:桂 香代子さん(一般財団法人女性労働協会第二事業部部長) ○2市1町広域連携事業2件 共に生きるフォーラムふじさわ2017「考えよう!性のコト」ほか 講演会等の情報を広く集め提供するため、広報さむかわや町ホームページを活用した。今後もどのような媒体が効果的か講座参加者に対しアンケート調査を行い、結果等を考慮し研究していく。	A	広報紙やホームページ、SNS等を活用し、町外で開催される講座等の情報提供をすることで、意識改革の機会やスキルアップなどの支援をすることができた。	協働文化推進課	
	町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	5	5					2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
8	求人に関する情報提供		30	30	30	30	30	ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 ・日時：平成29年10月3日13:00～15:30 ・場所：藤沢商工会館ミナパーク 町単独での面接会の実施は難しいため、ハローワークや近隣市と連携が必要。	B	参加企業の募集については参加企業数は減少したものの、町内からの参加求職者数の増加が見られたため。	産業振興課	
	(H28・H29) 役場ロビーに設置した端末機でのハローワークの求人情報を提供します。 (H30～H32) 役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に務める。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。	湘南合同面接会で求人情報を提供できた企業数(社)	30	28					2			

<基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶>

施策の基本的方向 1. 異性に対する暴力防止の対策

施策の内容(1) 配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
9	暴力防止に関する意識啓発		2	2	2	2	2	○引き続きホームページへの掲載を行った。なお29年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は218件。 ○2市1町広域連携のなかでデートDVの防止に向けた啓発チラシを作成し、寒川高校及び成人式にて配付を行った。(チラシ作成数1500部) ○町役場1階ロビーにおいて、DVに関するパネル展示を行った。(1/17～1/26) ○窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、「DV気づき講座」や相談窓口の情報提供を行った。 今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていけるよう検討していく。	C	様々な機会を捉え、暴力防止に関する意識啓発を行うことができたが、指標の一つとしている広報紙による啓発が行えなかったため。	町民窓口課	
	広報紙等を通じてDVに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	広報紙、ホームページでの啓発回数(回)	1	1					2			
10	DV等に関する相談や関係機関との連携		12	12	12	12	12	○関係機関との会議(7月13日) ○関係機関との定期的な情報交換11回 町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と連携をとり相談にあっている。また平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など、連携を取り合って対応している。今後も適宜、情報共有できるよう努めていく。	A	平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れているため。	町民窓口課	
	関係機関と連携しながらDV等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、DV被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会の回数(回)	12	12					2			

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実		0	0	0	0	0	セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員及び相談員を設置していたが、平成30年2月に廃止とし、新たにハラスメント防止に関する要綱を施行し、それに基づき相談窓口及び相談員を設置。	A	目標値を達成しているため。	総務課	
	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。	(平成28・29年度)相談と処分の件数(件) (平成30～32年度)処分の件数(件)	0	0	/	/	/		1			
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供		2	2	2	2	2	○引き続きホームページへの掲載を行った。なお29年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は136件。 ○実際の相談はなかったが、相談があった場合に、より有意義な情報提供をどのようにしていくのかを検討していく。	C	ホームページへの掲載を継続し周知を図ったが、広報紙については掲載できなかったため。	町民窓口課	
	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。	広報紙、ホームページでの啓発回数(回)	1	1	/	/	/		2			

施策の基本的方向 2. 人権尊重のための対策
施策の内容（１）人権侵害に関する支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	4	4	4	○毎月第2第4火曜日に定例の人権相談を実施(計22回実施) ○特設人権相談及び街頭啓発活動 6月(1ヶ所)・12月(2ヶ所)実施 ○産業まつりでの啓発活動 11月実施 啓発の効果を量ることは難しいが、現状実施しているもの以外の各種行事などにおいても意識啓発の場を設けるよう検討していく。	A	相談を予定どおり実施し、相談者の支援に努めた。また街頭啓発において、多くの町民に啓発物品及びリーフレットを配布し、意識啓発に努めた。	町民窓口課	
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。	街頭での人権啓発活動回数(回)	4	4	/	/	/		1			

施策の基本的方向 3. 生涯を通じた心身の健康づくりの充実
 施策の内容(1) 男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
14	健康増進事業		4	4	3	3	3	平成29年7月4日、10月5日、11月11日実施 男性42人、女性137人、計179人受診	C	39歳までの人たちが格安で受診できる町の健診は他にない。パパママ健診は、皆子連れであるため、受診者から「周りを気にせず、気楽に受診できる」という声があり、好評である。	健康・スポーツ課	
	生活習慣病予防や健康維持・増進のための健診を実施し、町民の健康づくりを支援します。		4	3	/	/	/	パパとママが子連れで健診できる日の受診数が伸びない。	2			
15	健康普及事業		65	67	68	68	68	①食生活栄養講座 5回 123人 ②各種健康講座 41回 1,507人 ③体操の日 19回 1,015人	B	実施回数は達成できたが、男性の参加しやすい工夫が必要である。	健康・スポーツ課	
	地域の実情や町民のライフステージに合わせた健康づくりを支援するため、町民が自主的に健康づくりや食育に取り組むための機会の場を提供し町民一人ひとりの「自分の健康は自分で守る」という意識の促進を図ります。		61	65	/	/	/	男女共同参画の視点では、どの教室も個別の対応で実施している。男性の参加を促すために講座名や内容に「男性の～」としても、新規参加者が増えていかない。	3			
16	公民館講座（健康づくり講座）の開催		4	4	2	2	2	健康で明るい生活を送るために、血管をマッサージして血液の循環を促進する体操を体験し、身体に関する意識の向上と健康づくりのきっかけとなる講座を開催した。 「血液循環促進体操講座」(南部公民館) 11/11(土)・12/9(土) 参加者延べ13名(すべて女性)	C	目標値を達成することができなかった。 平成29年度から指定管理者制度を導入したため、今後、目標値の達成に向け指定管理者と連携を図り、取り組んでいきたい。	公民館(平成28年度) 教育総務課(平成29年度～)	
	公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。		4	2	/	/	/	土曜日開催であったが男性の参加がなかった。男性が参加しやすい健康づくり講座についても検討が必要。	2			

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
17	健康教育事業	小冊子の配布回数(回)	1	1	1	1	1	平成30年1月8日実施。 成人式対象者男性191人、女性170人計361人に配布。	A	冊子の内容を見直し、配布できた。	健康・スポーツ課	
	新成人等へのパンフレットの配布による健康教育を実施します。		1	1				栄養、喫煙の影響や、男性にもかかわりがある子宮頸がんについてわかりやすく周知するためのよい機会になっていると思うが、20歳代の子宮がん検診受診数の伸びにつなげていない。	2			
18	「生きる力」の育成事業	性教育実施時間数(時間)	10	10	10	10	10	学習指導要領に基づき、小・中学校の各学年における教科、道徳、総合的な学習の時間等を通して、実態に即した適切な性教育が推進された。 一例として、小学校では理科の授業にて「生命の誕生」を学ぶ。中学校では、家庭科で「保育」について男女で共修する。中学校の保健体育、技術・家庭科の授業は男女共修で行われている。 今後社会的側面での人間尊重・男女平等の観点に基づき、教育活動全体を通して、児童生徒の発達段階をふまえた性教育および様々な性に関する現代的課題(性同一性問題など)にも取り組む必要である。	A	児童生徒の健やかな心身の育成は、確かな学力、豊かな心とともに、大切な「生きる力」の一つである。学校では、学習指導要領に基づき、保健体育の授業等における「性教育」のみならず、あらゆる場面での生命に関する教育が展開された。	学校教育課	
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。		10	10					2			

<基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり>

施策の基本的方向 1. 就業環境における男女共同参画の促進

施策の内容（１）男女平等な雇用の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
19	勤労者実態調査の実施（再掲）	調査票の回収率(%)		50			40	町内の事業所に勤務する労働者の労働実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に実施した。 ・調査対象：町内に所在する従業員10名以上の全事業者 ・調査基準日：平成29年7月1日 ・調査の期間：平成29年7月14日～7月31日 ・送付数：290票 ・回収：81票 アンケートの内容や実施方法を検討し、回収率を向上させる工夫が必要。	C	アンケート内容を精査し、質問数を39問から26問へ減らすなどして事業者が回答しやすくなるよう工夫し、また調査対象を、従業員が10名以上の会社すべてとし、約50社には、職員が訪問して協力をお願いしたが、回収率の向上には至らなかったため。	産業振興課	
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施します。その結果を事業所に知らせることにより、男女平等雇用の意識を喚起します。		-	28					1			

施策の内容（２）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
20	労働相談に関する情報提供							・県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町のHPや広報紙、メール配信等で情報提供を行った。	A	ホームページやメール配信を活用することで迅速に情報提供を行うことができたため。	産業振興課	
	(H28・H29) 広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。ハローワーク藤沢管内の3市1町で実施する湘南就職面接会時において、労働者向けに労働に関する相談会を実施します。 (H30～H32) 広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。また、関係機関と協力し、労働者向けに労働に関する相談会を実施します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	3	3	3	3	3		2			
21	労働講座の開催							労政問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時：平成29年10月26日(木)18:30～20:00 場所：寒川町役場東分庁舎2階第1会議室 テーマ：長時間労働と健康 講師：かながわ労働センター湘南支所 松井 信之 参加者数：35名	A	労政問題懇話会と連携し、労働講座を開催することができたため。	産業振興課	
	(H28・H29) 労政問題懇話会及び県との共催により、労働環境に関する講座を実施します。 (H30～H32) 関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数(回)	1	1	1	1	1		2			

施策の内容（3）育児・介護に関する制度の周知と普及の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
22	育児休業取得の促進		100	100	100	100	100	近年男性職員の取得率も増えてきており、職場内での意識が大分変わってきている。今後も目標値到達をめざし、意識を高めていく必要がある。	C	目標値到達にいたらなかったため。	総務課	
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率(%)	33	50	/	/	/		2			
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3	3	3	3	国や県から提供された情報をメール配信、窓口による配架にて、町内事業者に対する啓発を図った。	A	ホームページやメール配信を活用することで迅速に情報提供を行うことができたため。	産業振興課	
	国や県からチラシやパンフレットを町内事業所に配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3	3	/	/	/		2			

施策の基本的方向 2. 仕事と家庭・地域活動との両立の支援
 施策の内容(1) 子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
24			保育環境充実事業		100	100	100	100	100	認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対する助成を行った。	A	認可保育所等が面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、定員以上の受入をしている。保育の必要性のある児童を認可保育所等において保育することで保護者の就労の支援を行った。
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実や児童の処遇改善、保育サービスの供給増加等を図ります。		109	108	/	/	/	2				
25	子育て支援相談事業		100	100	100	100	100	相談日：月から金 9:00～16:00 相談件数488件 課題等：育児不安を抱える家庭は、増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り複雑化・長期化の傾向がある。	A	他機関との連携を含む継続フォローや指導等、悩みを抱える子育て家庭への負担軽減を図った。	子ども青少年課 (平成28年度) 子育て支援課 (平成29年度～)	
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。		100	100	/	/	/		2			
26	児童クラブ運営事業		200	220	250	270	270	開所日293日 保護者が労働等により放課後家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進するためNPO法人寒川学童保育会に運営委託を行った。自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援した。	A	保護者の就労や女性の社会進出により、子どもが安心して放課後を過ごせるよう、今後も同事業を継続していく。	子ども青少年課 (平成28年度) 保育・青少年課 (平成29年度～)	
	保護者が労働等により放課後昼間家庭にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。		222	224	/	/	/		2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績		今後の方向性			
27	ひとり親家庭等医療費助成事業		800 (人)	800 (人)	100 (%)	100 (%)	100 (%)	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 (参考)児童扶養手当非受給世帯及びび人数 H28:46世帯106人、H29:29世帯85人	A	離婚や死亡・転入等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースもあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	子ども青少年課 (平成28年度) 子育て支援課 (平成29年度～)	
	ひとり親家庭等の人 が病院等を受診したとき に支払う医療費のうち、 保険診療分の自己負担額を 助成します(所得制限有り)。 (平成28・29年度)助成対象者数 (人) (平成30～32年度) 助成率 (%)	755	903				2					

施策の内容(2) 男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績		今後の方向性			
28	父親・母親教室の開催		100	100	100	100	100	4日間1コースを年間5回実施し、延べ妊婦294人 夫92人参加。 毎コースの4日目の日曜日は、8割が妊婦とパートナー2人での参加となったものの、参加延べ人数による夫(パートナー)の割合は、H27年度24.5%、H28年度29.1%、H29年度23.8%となっている。	B	夫(パートナー)の参加割合は、年度により変動があるものの、育児を学ぶ男性は20%以上となっている。	健康・スポーツ課 (平成28年度) 子育て支援課 (平成29年度～)	
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度 (%)	95	93					2			
29	母子訪問指導事業		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	継続的な訪問が必要なケースの増加により、訪問件数は、目標数を上回った。	A	母子健康手帳交付時のイクメンテキスト配布や訪問による個別支援で、男性への意識啓発を実施した。	健康・スポーツ課 (平成28年度) 子育て支援課 (平成29年度～)	
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。	母子訪問合計件数 (件)	1,443	1,654					2			
30	介護教室の開催		30	30	105	105	105	○家族介護教室 開催日(回数): 前期 H29/10/10、10/20、10/27(3回) 参加人数:30人(男性5人女性25人) 後期 H30/2/28、3/8、3/14(3回) 参加人数:25人(男性6人女性19人) 合計55人(男性11人女性44人) ○認知症高齢者介護教室 開催日(回数): H30/2/27、3/6(2回) 参加人数:25人(男7人女18人)	A	講座内容を見直し、周知に力を入れたところ、1回あたりの参加人数が増加した。家族介護教室と認知症高齢者介護教室の時期をずらして開催する。	高齢介護課	
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。	講座参加者合計数 (人)	21	80					2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
31	公民館講座（男性向け講座）の開催		1	1	1	1	1	<p>男性の家事への参加を促すため、手軽に作ることができるメニューで男性向けの料理教室を開催した。「メンズクッキング教室」(北部公民館) 11/26(日)参加者9名(60代3名、70代以上5名、不明1名)</p> <p>男性向けに特化した講座の開催も必要であるが、男性が参加しやすく、男性も女性と一緒に学習できる場で意識付けできるような講座の開催についても検討が必要。</p>	A	<p>目標値を達成することができた。平成29年度から指定管理者制度を導入したため、引き続き、目標値の達成に向け指定管理者と連携を図り、取り組んでいきたい。</p>	<p>公民館(平成28年度)</p> <p>教育総務課(平成29年度～)</p>	
	公民館講座を通じて、男性の家事・育児・介護への参加に対する意識付けを促進します。		2	1					2			

施策の内容(3) 地域活動への参加の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
32	ファミリーサポートセンター事業		1,700	2,200 1,700	2,250	2,300	2,300	<p>おねがい会員749人、まかせて会員190人、どっちも会員151人、合計1,090人</p> <p>課題等:おねがい会員に対し、まかせて会員が少ない。事業開始から10年以上が経過し、おねがい会員からまかせて会員やどっちも会員に登録していただける会員も多くなっていることから、さらに事業の必要性を啓発していく必要がある。</p>	C	<p>子育て家庭に対する経済的負担の軽減と保育ニーズの分散化を狙いとした町一部負担金を導入し3年目となったが、活動件数は前年比78%となった。活動件数が減となった主な理由は、保育園に入ることのできた会員が多かったことと、28年度に入院のため子ども3人の学校への送迎を長期間にわたり利用していた会員が、当該年度途中で退院したことにより、送迎の利用がなくなったためである。</p>	<p>子ども青少年課(平成28年度)</p> <p>子育て支援課(平成29年度～)</p>	
	育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。		2,153	1,685					2			
33	生涯学習に関する情報提供		6	6	6	6	6	<p>男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。</p> <p>1.さむかわ町民大学 2.出前講座 3.4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介用/登録者募集用 5.さむかわ生涯学習総合案内 6.広報さむかわ8月号特集ページに掲載 ○町ホームページの関連ページ訪問数は387件。</p>	A	<p>「さむかわ生涯学習総合案内」を町内の各施設に配架し、広く生涯学習に関する情報提供を行った。紙媒体は文字数等情報量に制限があるため、ホームページ、Twitter、メール配信サービスを活用し情報量の充実をしていく。</p>	<p>協働文化推進課</p>	
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。		6	6					2			

<基本目標Ⅳ 男女共同参画社会促進のための意識づくり>

施策の基本的方向 1. さまざまな場における意識づくりの推進
 施策の内容(1) 職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
34	男女共同参画に関する講座の開催		80	80	80	80	80	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。	A	①定員(30名)を大幅に超える申込があり、48名まで増員し実施した。自分自身の仕事に役立つ等アンケートの感想からも満足度の高い講座となった。 ②参加者の年代も幅広く、アンケート結果からも満足度の高い結果となった。 ③寒川町内企業向けの講座を実施することができ、取り組み事例等わかりやすい内容だった。	協働文化推進課	
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	114	164				①男女共同参画推進市町村連携講座「コミュニケーションカアップ講座～ハッピーボイス・トレーニングで伝わる話し方～」 日時:平成30年1月13日(土) 場所:寒川町民センター展示室Ⅰ 参加者:47人(男性14人、女性33人) 講師:山口 容子さん(株式会社テレビ朝日アスク講師) 内容:職場や地域などあらゆる分野において、男女が対等な構成員として政策や方針決定、団体の意思形成の過程に関わることは、社会の構成員の意思を適切に反映する意味でも重要である。自分の考えを相手に伝え、相手の意見に耳を傾け言葉のキャッチボールをして理解し、議論を深め、方向性を決めていく力は男女問わず必要であることから、コミュニケーションや話し方について学んだ。 ②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会「報道写真家が世界で見てきたこと～キルギスの誘拐結婚とISISに故郷を奪われた人々～」 日時:平成29年10月14日(土) 参加者:101人(男性34人、女性67人) 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室2・3 講師:林 典子さん(フォトジャーナリスト) 内容:講師が海外で取材活動中に撮影した写真をもとに、パキスタンでの、家庭内暴力や交際や結婚を断られたことに対する報復等により、男性が女性の顔に硫酸をかけて火傷を負わせる暴力行為、キルギスでの、気に入った女性を男性が誘拐して結婚を強要する「アラ・カチュー」、過激派組織IS(イスラム国)により異端視され迫害されているイラクのヤズディなど、男女平等の意識は世界的に広がりを見せているが世界各地には女性の地位の向上が遅れた地域があることや文化的な背景からくる問題の複雑さ、そして、世界にはこのような境遇に置かれている人がいるということを想像する・知ろうとすることの重要性についてご講演いただき男女共同参画について考える機会を提供できた。 ③寒川町女性の活躍推進講座「ホジティブ・アクション推進のために」 日時:平成29年11月7日(火) 参加者:16人(男性11人、女性5人) 講師:桂 香代子さん(一般財団法人女性労働協会第二事業部部長) 内容:ホジティブ・アクションの必要性とメリット、女性活躍、働き方改革の推進、先進事例の紹介など女性活躍推進について理解し職場で推進するために必要な知識を学ぶことができた。				

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
35	人権教育推進事業		1	1	1	1	1	男女を問わず、よりよい人間関係づくり、日常生活における人権尊重について考える機会を提供した。 「自分も相手も大切にしたい気持ちの伝え方～アサーティブコミュニケーション講座～」 ・2/3(土) 12名(男性1名・女性11名)	A	目標値を達成した。 男女共同参画の意識を含め、人を思いやる心、悩みを相談できる環境、よりよい人間関係づくりといった日常生活において人権への配慮がその態度、行動に現れるような人権感覚が身につくよう、人権に関わることが常に身近にあることに気づき、考える機会を提供できた。	教育総務課	
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。		1	1					2			

施策の内容(2) 家庭における意識啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
36	父親・母親教室の開催(再掲)		100	100	100	100	100	4日間1コースを年間5回実施し、延べ妊婦294人 夫92人参加。毎コースの4日目の日曜日は、8割が妊婦とパートナー2人での参加となったものの、参加延べ人数による夫(パートナー)の割合は、H27年度24.5%、H28年度29.1%、H29年度23.8%となっている。	B	夫(パートナー)の参加割合は、年度により変動があるものの、育児を学ぶ男性は20%以上となっている。	健康・スポーツ課(平成28年度) 子育て支援課(平成29年度～)	
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。		95	93					2			
37	家庭教育講座等開催事業		1	1	4	4	4	「ママパパのための絵本講座」 ・1/14(日)「わらべうたベビーマッサージと絵本でふれあい遊び」 8家族(17名) (大人:8名(女性8名) / 子ども:9名(男性3名・女性6名)) ・10/29(日)「絵本で子育て講演会」 10名(男性1名・女性9名) 「パパママいっしょにニコニコ子育てライフ」 ・10/1(日) 7家族(21名) (大人:13名(男性7名・女性6名) / 子ども:8名(男性5名・女性3名))	A	目標値を達成した。 母親だけでなく、父親の参加も狙い、日曜日開催としたため、夫婦で参加した家族もあり、男性の育児参加についても啓発することができた。また、1回については、父親ならではの育児や夫婦のパートナーシップをテーマに開催し、男女共同参画の意識啓発を含め、父親の育児参加を促す機会を提供できた。	教育総務課	
	家庭教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。		3	3					2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
38	公民館事業（家庭教育講座）の開催		2	2	4	4	4	<p>0歳児の母子を対象に、無理のないストレッチ運動を通じて、母親の健康づくり、母子の絆づくり、母親同士のママ友づくりを支援する講座を開催した。 「ママとベビーのふれあい体操」(町民センター) 10/10(火)・10/20(金)参加者8名</p> <p>乳幼児に音楽や運動、遊びの機会、親子のふれあいの場を提供する講座を開催した。 「親子リトミック教室」(南部公民館) 10/20(金)・10/27(金)参加者延べ26組112人</p> <p>平日開催のため父親の参加はなかった。男性が参加しやすい講座についても検討が必要。</p>	A	<p>目標値を達成することができた。 平成29年度から指定管理者制度を導入したため、引き続き、目標値の達成に向け指定管理者と連携を図り、取り組んでいきたい。</p>	<p>公民館 (平成28年度)</p> <p>教育総務課 (平成29年度～)</p>	
	公民館講座を通じて、男女共同参画の意識づくりを図ります。		2	4					2			
39	図書資料の充実		1	1	1	1	1	<p>平成29年度の家庭教育関係資料の購入点数は138点、購入金額は、約19万3千円でした。様々な分野から家庭教育に関する資料を収集し、当初の計画より多くの点数を提供する事ができた。 今後も、いかに利用者の要求を的確に把握し、資料収集を行い、提供していくかが課題である。</p>	A	<p>様々な視点から家庭教育関係の資料を収集し提供することができた。 金額、点数も当初の目標を大幅に上回ることができたため。</p>	<p>寒川総合図書館 (平成28年度)</p> <p>教育総務課 (平成29年度～)</p>	
	男女共同参画に向けた、家庭教育関係の資料の充実を図ります。		3	2					2			

施策の内容（3）学校等における意識啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
40	教職員の資質向上事業		240	240	240	240	240	教職員研修会(5/29、7/26、8/10、2/16、全4回 288名)および教育講演会(7/25 42名)に於いて、人権感覚を磨き、人権や男女共同参画に配慮した授業づくりや教育課題の解決力の向上などを行い、意識を高めた。 ・研修会、教育講演会男女参加比 154:176	A	本年度も、大変充実した研修会や講演会を開催することができた。「人権教育やインクルーシブ教育」そして男女共同参画の観点から今後も継続して研修を行っていく必要がある。	学校教育課	
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数(人)	292	330					2			
41	中学生人権作文コンテストの実施		150	150	150	150	150	○例年どおり教頭会で募集を行ったが、応募者0人の学校もあり目標値を下回った。 (参加校2校、応募者数内訳:男子37人/女子53人) 参加者の募集は町立中学校等に対して行っているが、夏休み期間に多くの課題の中からいくつかの課題を選択してもらうため、人権作文を選んでもらえるかどうかは、生徒自身の希望や学校の取り組み方次第となっている。当事業は人権擁護委員会の事業ではあるが、若年期から人権意識を身に付けることは重要であり、事務局として協力しながら、引き続き多数の参加が得られるような方法を検討していく。	C	今年度は応募者数が目標値に届かなかったため。	町民窓口課	
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数(人)	202	90					2			